



全日本中国人博士協会メールマガジン

2011年11月1日 メルマガ第54号

ご投稿・ご意見・ご要望：mailmag@casej.jpまで

本期内容

- 編集者語 - - - - - 李 卿
- 協会動態
 - ・事務局からのお知らせ - - - - - 博士協会事務局
 - ・会規改定報告 - - - - - 会規改定委員
 - ・关于组织留学人员参加首届“中国天津技术创业大赛”的通知 - - - 国内支援委員会
 - ・紅葉鑑賞・森林浴・温泉・交流会 - - - - - 博士協会事務局
- 会員投稿
 - ・身体のリズムと健康 - - - - - 陶恵栄
 - ・会員の声 - - - - - 金 俊
 - 会員研究・技術開発紹介
 - ・暗号化クラウドストレージに対するアクセス制御技術に関する研究 - - - - 趙方明
 - 情報園地
 - ・「2011年寧夏大学中日国際学術セミナー」開催案内 - - - - - 藏志勇
- その他
 - ・投稿案内 - - - - - メルマガ編集委員会
 - ・メルマガ編集委員募集 - - - - - メルマガ編集委員会

編集者語

李 卿

初冬の候、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今日は11月1日で、皆様に11月号メルマガをお届けします。

日本では、11月が霜月（しもつき）と呼び、別名として霜降月（しもふりづき）も用います。また中国でも「霜月」及び「冬月」という呼び方があります。確かに暦では11月8日は「立冬」という「節気」にあたります。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味です。実は11月の季語は紅葉です。11月は、正に紅葉・黄葉を鑑賞する季節です。東京メトロも11月3日（木・祝）～27日（日）の土日、祝日の計10日間、丹沢・大山への行楽に大変便利な臨時特急ロマンスカー「メトロもみじ号」を一日1往復運転します。会員の皆様も秋の行楽に利用したら、如何でしょうか？

この紅葉の季節に合わせて11月には事務局が会員のふれあいイベントとして「紅葉鑑賞・森林浴・温泉・交流会」を企画しました。ぜひ奮ってご参加ください。森林浴と温泉浴の相乗健康効果を楽しみながら、友人及び大自然と触れ合いましょう。

11月は天候の変動が激しく、朝晩はかなり冷え込み、風邪を引きやすい季節で、健康管理に要注意です。会員の皆様の養生及び健康管理のご参考に陶恵栄博士の「身体のリズムと健康」をお薦めします。哲理に満ち溢れた好文章で、養生及び健康管理のために読んで

頂く価値があると思います。ここに投稿して頂いた陶博士に深謝いたします。

また恒例として会規改定委員会、国内支援委員会の活動紹介、会員研究・技術開発紹介や会員投稿なども掲載しております。

以上の内容をもってメルマガ 54 号を会員の皆様にお届けします。お時間のある時に読んで頂ければ、と思います。

メルマガに対してご意見・ご要望があれば、ぜひともご連絡いただき、今後の編集に生かしたいと思います。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。
末筆ながら、会員各位のご健康とご多幸を祈念致します。

協会動態

事務局からのお知らせ

博士協会事務局

会員の皆様

何時もご支持とご支援を賜り有難うございます。

さて、会員の皆様には誠に申し訳ありませんが、もし執行部または理事会メンバー個人にご意見などがありましたら、直接会員メールに流すのではなく協会事務局に連絡ください。事務局がまとめて理事会に提出いたします。理事会で結論を出しますので、宜しくお願い致します。理事会を通して結論が出ない場合はご自由に会員に訴えても結構です。いずれにしろ、協会のルールを守りましょう。個人個人が勝手に会員メールに文句を流し始めると一つ団体として存在意味がありません。ルールを守らない会員または人には他人を非難する資格がありません！他人を疑う前に自分を一回疑って見ましょう。そうすると自然に平和になるはずですよ。

最近「裁判」とかの言葉が結構飛び散っているが、裁判は両方も疲れる場所であり、人生に傷付ける場所でもあります。さらに同じ他国で頑張っている有識者同士として内部矛盾を日本の裁判にかける自体が中国人の恥であり、中国人と自称する資格がないと言っても過言ではありません！お互いに誠意を持って、対応しましょう。

以上宜しくお願い致します。

会規改訂報告

会規改訂委員会

会員の皆さん

前回に引き続き会規の中文版の作成は張偉委員長をはじめ多くの委員の方々がチームワークで仕上げました。そして、理事会の審査を通して HP に公開するようになりました。

<http://www.casej.jp/newpage/cn/html/xhzc.html> を参照。

委員らは本業の多忙にもかかわらず協会への奉獻精神が下記のメールから「一斑を以って全豹をトす」でしょう。

其の1

私が担当した部分 11 - 15 条の翻訳仕事が完了しました。
添付ファイルに入れましたので、ご査収ください。

其の2

皆様

担当分の中訳は終わりましたので、送り致します。
チェックしやすいため、原文もそのまま残しております。

其の3

各位

会則の翻訳はようやくできました。遅れてすみませんでした。
言葉は、他の条の内容と統一していない所があるかもしれないので、張さん、よろしくお
願いします。

其の4

刚刚完成了一部 20 万字的书稿，因为时间赶得比较急，所以会规的翻译拖到了现在，昨天晚上又修改到一半就睡着了，翻译稿现在才能发给您。不好意思。

また、会員全員からのチェックもお願いしたいと思います。
ミスや疑問点あればぜひ agreement@casej.jp に連絡くださいますようお願い致します。

关于组织留学人员参加首届“中国天津技术创业大赛”的通知

国内支援委員会

各位会员，大家好

天津市留学服务中心发来通知，国家科技部和天津市人民政府将联合在天津市举办首届“中国天津技术创业大赛”。请报名参赛者将、

姓名：

参赛项目名称：

发至协会事务局人 office@casej.jp

协会事务局将汇总后报天津市留学服务中心。欢迎大家踊跃报名参加。

具体说明如下、

一、参赛范围

有志于来津创业的海外留学人员均可报名参赛。

二、参赛项目

此次大赛重点关注的是新能源、生物技术与现代医药、新一代信息技术、高端装备制造业、现代服务业等领域的项目，主要分为创新项目类、成长项目类和初创项目类。

三、奖项设置

大赛对应创新项目、成长项目、初创项目，分别设置创业腾飞奖、创业奋进奖和创业萌芽奖，并设纪念奖、组织奖。获奖项目将得到大赛提供的奖金、基金联盟的投融资、决赛期间免费宣传和天津市多项政策及资金支持。

四、参赛办法

网站在线填写报名表及项目信息表（大赛网站：www.cttec.org 或 tec.thip.gov.cn），并上传创业（商业）计划书。

参赛手册以及相关表格下载：<http://tec.thip.gov.cn/CTTECWEB/web/support/downpage.jsp>

天津市留学服务中心

二〇一一年十月十八日

紅葉鑑賞・森林浴・温泉・交流会

博士協会事務局

会員の皆さん

気持ちのよい秋晴れが続き、樹々の紅葉も日ごとに深まり、絶好の行楽シーズンですね。さて、会員同士の交流を図り下記の交流会を企画したいと思います。皆さんぜひ奮って参加するようお願いいたします。家族連れも大歓迎です。

テーマ：紅葉鑑賞・森林浴・温泉・交流会

申し込み先：事務局 office@casej.jp CC:幹事:藤 勁兵/tengjb60@hotmail.com

締め切り：11月12日

時間：11月19日土曜日

予算：約5,000円/人

場所：成田山公園と我孫子駅周辺

段取り：

- 1) 12:30 成田山公園正門集合
(集合前お昼ご飯を各自で済ませて置いてください)
- 2) 成田山で紅葉鑑賞・森林浴//12:30~15:00
http://www.nrtk.jp/news/momiji_maturi/
- 3) 移動：15:15 成田駅 16:00 我孫子駅
- 4) 天然温泉を満喫 16:30~18:00 <http://www4.ocn.ne.jp/~manntenn/>
(入浴料：750円、タオル類持込自由)
- 5) 19:00~21:30 懇親会(我孫子駅付近居酒屋：八っちゃん、3800コース料理・飲み放題・2時間半)
- 6) 21:30 現地解散

会員投稿

身体のリズムと健康

陶氏診療院院長・医学博士 陶恵栄

2000年前中国最古の体系的な医書「黄帝内経」が、身体のリズム、五臓六腑の働く時間を教えてくれた。時計遺伝子の最新研究がその正確さを証明した。

3 - 5時：人生のスタート、肺経

人が生まれてから、肺の働くのが始まり、生命の誕生象徴と言われる「肺経」の働く時間は朝3 - 5時。その時間帯に、健康、栄養の有る空気が、身体最高のプレゼントだ。喘息、慢性気管支炎、肺の病気が、朝3 - 5時症状が出るのはその理由だ。

5 - 7時、120歳元気に生きる基本、排出第一の大腸経

満員列車から先に降りた後に乗るように、消化器官が働くのは朝の排出からだ。5 - 7時、大腸経の働く時間だ。現代身体検査発明前、古代の人々は、朝の排出と朝食の食欲が健康のパロメーターと言われた。朝食の前に、排出できることは、内臓リズムが正常の象徴、健康の基本だ。肺と大腸が皮膚の健康を支える。大腸経が手から首へ、歯茎、鼻に通過、その為アトピー皮膚炎、アレルギー鼻炎がこの時間帯に症状が出る。

7 - 9 時、朝食の時間、胃経

7 - 9 時、排出の後は朝食だ。胃経の働く時間。収納、消化するのは、新陳代謝の始まり成長の源だ。朝食を取らないと、一日のエネルギー不足が始まり、身体貯蔵のエネルギーを使い、身体エネルギー代謝に不効率になる。中国では朝食は「皇帝」、昼御飯は「平民」、晩御飯は「乞食」という例え話がある。朝食の大事さと言うまでもない。朝を制する人が、一日を制する。のち一生に制する。人生、一年中の春だ。

9 - 11 時、消化、吸収の時間、脾経

朝食後、9 - 11 時、消化、吸収の時間。偶に休みの日が寝坊して、その時間で朝食取るのは、一日のリズムがズレ、不調な一日の原因だ。もし寝坊した場合、朝食を抜いて昼食にすれば、一日のリズムがまだ守れる。9 - 11 時は身体、脳の第一勉強と仕事の黄金時間帯だ。

11 - 13 時、体の最高潮、心経

心経の働く時間、血管、心臓修復も行う。病院の統計で、脳、循環系の病死時間割、11 - 13 時はピークだ。次の小腸経の働く時間帯を考え、消化吸收の前、昼食の摂取時間だ。静かに楽しい食事を頂き、心臓、血管に無理を掛けないことは大事だ。食べすぎが要注意。年寄り、心臓血管系が弱い方、特に夏の期間、要注意の時間帯、食べ放題が避けるべきだ。人生、一年中の夏だ。

13 - 15 時、腸免疫中枢、小腸経

昼食の消化、吸収が分別し、身体の物質と心の支えとして作用する。腸免疫が正常に働くため、その前に、昼食をきちんと取る。量より質で、「生きている」食品を選んで、生命力のある食物を摂取するのがポイントだ。吸収、消化する時、水分の摂取も忘れない。新陳代謝は水がなければ出来ない。水も出来れば抗酸化力、生命力を持つ水。お酒や、ジュース、果汁、炭酸飲料など、余計な成分があり身体に合わない時、負担になり、出来れば避けること。

15 - 17 時、体液循環ピーク、膀胱経

膀胱経が小腸、脾消化後、不要な水分をまとめて排出。「午後の紅茶」の言葉の通り、その時間帯で水分の摂取に身体負担が一番少ない。コーヒーが東洋人の原始の飲物ではなく、もしコーヒーが好きな方、この時間で、一杯飲んでも、身体の影響が最少で抑える。水分長節の時間帯、足の浮腫みが時にあり、その時間、靴を買わないこと。15 - 17 時は第二勉強と仕事の黄金時間帯。15 - 17 時、元気がない方、気血が足りない膀胱経の問題。解決方法が、まず早く寝ること、次は正しく食事を取る。排尿の時、歯を噛み締めるのは膀胱経の簡単な養生方法。

17 - 19 時、先天のエネルギー源、腎経

「腎」は中国医学で最も重視する「臓腑」の一つ。「先天の精」(親から頂いたエネルギー)、生命の源と言われる。一度頂いた腎気、一生使う。減ることが有るけど、増えることがないだろう。上手に使うのが健康長寿のキーワード。腎気は成長、生育、発育、修復、身体陰陽の基本。「水」と「納気」(吸気を収める)を司り、腎気が虚弱になると、腰痛、風邪が引きやすく、老けていき、病弱になる。腎気が親から貰ったもので大事に使うしかない。特に「腎気」を消耗する生活が禁物。激しい運動や、食べすぎ、飲みすぎを避けること。特に冬は腎気修復、調整する季節で、冷たい飲物や、身体特に下肢の冷える行為(部屋の頭熱足冷の暖房も)は禁止。部屋の温度が低くても、足元が暖めればいい。

現代生活、一番直しにくい習慣は、夕食の量。身体のリズムを考えると、消化器官が働く時間帯ではないから、夜遅く働く人に、一番軽い食事を済ませて欲しい。人生、一年中の秋だ。

19 - 21時、鼻血と関係ある、心包経

心包、中国医学の専門用語で、心が病んだら、直接治療が受けられない、心の周りからしか出来ない。一つは心と表裏関係の小腸、もう一つは心包。心は君としたら、心包は大臣である。心を守る役割で、心の非難も心包で受ける。心の病気の治療でも、心包や小腸から始まる。精神的な症状が、この時間帯に静かに療養が肝心。暴飲暴食は致命的な行為。心包経を通過する両手の中指、お互いに引っ張ると鼻血が止まる。

21 - 23時、免疫機能修復、三焦経

三焦、中国医学の独特専門用語。上、中、下焦の総括。上焦は横隔膜以上、心肺の範囲と言う。中焦は横隔膜と臍（へそ）の間、胃、脾を中心とし、肝、胆も含める。下焦は臍以下、腎、膀胱、大腸、小腸を言う。五臓六腑を揃えて、全体の統括の「大腑」。勿論各臓腑の機能と違って、臓腑間の連結、円滑に活性化する機能。西洋医学の免疫機能、リンパ系統のような働き。

三焦経の働きを理解出来たら、健康養生のこともわかりやすい。一年に四季があり、春生・夏長・秋収・冬蔵（春は芽生え、夏は成長、秋は収穫、冬は貯蔵）の自然リズムがあり、その縮小版としての一日を考えると、21 - 23時は、冬季の初めで、休みの時間帯。すべての臓腑をリセットし、修復、翌日働くのが準備時間帯。

その時間、自然的に、「強制的」に休みの人々を思い浮かべてみてください。まず頭に浮かぶのは年寄り。年寄りには早寝。次は子ども。寝る子は育つのも常識。三番目は入院患者。寝ることを確保して、身体修復を強制的に行う。以上の例は、免疫低下、免疫不全、免疫バランスが崩れた人たち。一言で免疫機能が正常ではない人は自然に21時から寝る。四番目は軍人さん。自分は軍医大学で勉強した時も同じ、軍隊生活の規則により21時消灯。軍人が特殊の職業で、いつも最高状況を保たないといけない。

21時から休む事が分ければ、寝る前の足湯を薦める。足を洗うより、全身温かくなる足湯。冬の長い風呂は避ける為、足湯がいい。水分摂取は19時前までに。就寝前、水分の摂取を控える。睡眠中の尿意が、睡眠質低下の大きな原因。又、夕食が食べすぎないように心掛けましょう。

21 - 23時、中国では「亥時」と書く。「亥」の漢字を見ると、上の二画は陰陽と代表、下は男女二人です。前の腹が大きい女性、妊娠の意味で、後ろが男性で、陰陽交合は陰陽バランスを取る時間帯。夫婦生活もこの時間帯が最適だ。

23 - 1時、熟睡の時間帯、胆経

23 - 1時、子時、胆経の働く時間。胆嚢、西洋医学で分かる機能で、消化、吸収を助ける役で、現代高蛋白質、高カロリーの食事が、胆経を弱くさせる。胆経のもう一つの働きは「判断、勇気」を司る。中国医学で、「凡十一臓取決于胆」（胆経以外の十一臓腑の機能が胆経に依る）、日常生活で胆経の養生が大事。

23 - 1時の時間は、熟睡で、胆経や全身休みの時間帯。熟成するため、人により、22時前後が就寝必要。冬はもっと前に倒す。中国医学の養生も「子時」の睡眠が重視している。その時、全身の「陰気」が最強から弱くなりはじめ、「陽気」が段々育つ。昼陽気が順調に働くため、十分な質のある睡眠がとても重要だ。「陽強則寿、陽衰則夭」（陽気が強ければ長生きになり、陽気が衰弱したら短命になる）、陽気育成の時間が、起きて使うと陽気が育たなくなる。身体の陽気が地球上生物から見た太陽の存在でなければならぬ。

睡眠で陽気を養うことは、生命に最も重要なこと。子供時、疲れたらいつでもどこでも寝る。大人になると、自然の生理要求を無視し、色々な理由で大事な睡眠を後回しするこ

とになり、「借金」の形で、身体の元気を少しずつ奪う。夕食の食べ過ぎ、遅く摂取することが、自分の睡眠不良の原因になる。

1 - 3時、肝臓修復、解毒、肝経

1 - 3時は肝経の当直時間。肝臓は五臓六腑中の将軍。解毒、蔵血、参謀の役割で、情緒に一番敏感。肝臓自体、アルコールに一番弱い。その時間が睡眠第一。もし1 - 3時、まだ起きていて、お酒を飲むと肝臓がダブルパンチになる。肝臓が弱い方、「木」に属する方、朝1 - 3時、又は春に生まれる方、肝臓の養生が1 - 3時に力を入れたほうがいい：寝ることだ。

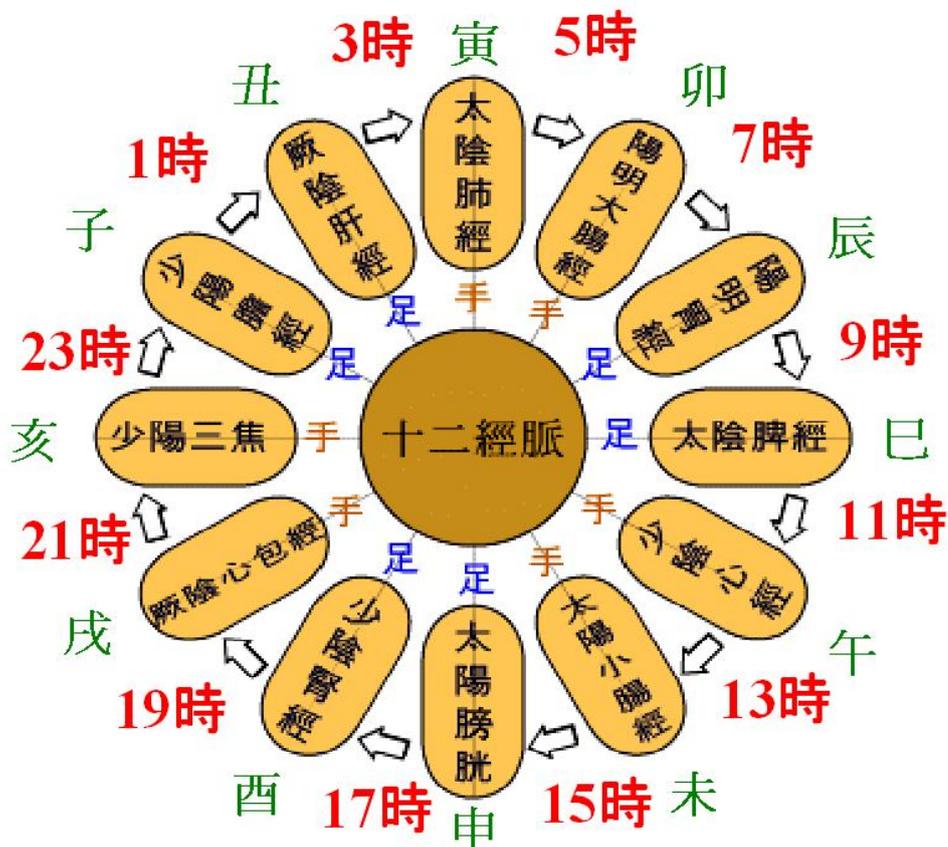
早寝をしても、1 - 3時、トイレに行く以外、目が良く覚める方、肝臓の異常があると考えられる。実に肝臓の代償能力が大きく、1/4の正常の肝臓細胞があれば、普段の肝機能検査の数値は正常である。そのため、肝機能が正常だから、肝臓に問題がないと言い切れない。

肝臓が五臓六腑の中、唯一再生できる臓器。そのため、肝臓病を治すのも他の臓器より容易だ。心は喜ぶのがいい。脾は思考が得意、肺は憂いっぽい、腎は恐怖に苦手、肝気が変動すると怒りやすい。五臓六腑と情緒は密接な関係がある。

男性が外向き怒ると、肝気がさらに傷つき。女性は我慢すると、肝木克脾土（肝は木に属し、脾は土に属し、肝気が強くなると、木が土に勝つ、木克土という）、胃腸の不調や、胃炎、胃潰瘍などが発生する。女性がストレスが溜まると、肝経と胃経を通過する乳腺にシコリ、腫瘍が発生しやすい。

「久視傷血」（長時間読むと血が痛む）、「肝蔵血」（血が肝に貯蔵している）、「目受血而能視」（目が血を受けて、物が見える）、「肝開竅于目」（肝気が五感に現すのは目）、「黄帝内経」の教えが、肝と血と視力の関係が、一目瞭然、分かりやすい。近代生活、パソコン、テレビ、視力低下の要素が溢れ、肝経の養生が心掛けよう。楽しい生活と仕事のため、肝胆修復の時間帯、十分睡眠を取り、目をしっかり休憩することを勧める。

「黄帝内経」の教えを理解し、現代生活の健康養生を活かそう。



去る 10 月 10 日、我々は辛亥革命 100 周年というとても大切な日を迎えました。

さて、辛亥革命ひいては中国近現代史を語る際、欠かせないのが正に「危機」というコトバです。普通このコトバを「危険」として理解する場合がありますが、実際「危険+機会」という解釈もあるわけです。つまり危険に向かって、敢えて立ち上がり、堂々と戦い、新しい局面を開くチャンスとして理解しても良いということです。

「危機」を前にして、ただの憂いは禁物です。むしろそれを「産前の腹痛」だと楽観的に思いつつ、それを乗り越えようとする意思と姿勢こそが大切であるわけです。

我が協会と我々会員一人ひとりにとって、今こそ、このような未来志向的な発想が必要な時期ではないかと思えます。

=====

会員研究・技術開発の紹介

暗号化クラウドストレージに対するアクセス制御技術に関する研究

趙方明

クラウドコンピューティングにおける重要な点の一つに、コンピューティング環境の ” 所有 ” からサービスの ” 利用 ” への変化がある。ネットワークを経由して、クラウド提供者側にある計算機資源を共有し、ユーザのコンテンツは元来の所有者の手から離れ、サービス提供者のコンピューティング環境において蓄積され加工される。したがって、利用者が所有しているコンピューティング環境と比較して利用者のコンテンツに対する不正アクセス等の危険が増す。さらに、コンテンツのプライバシーにおいても配慮が必要となる。サービスの提供者にも知られたくない秘密コンテンツの扱いでは、サービス提供者またはクラウドの管理者を完全には信用してはいけない場合もある。プライバシー情報を含むコンテンツへのサービス提供者(またはシステム管理者)による不正アクセス、悪用のリスクに配慮が必要である。

そこで、本研究ではコンテンツを中心としたアクセス制御に着目し、データが格納されたクラウドサービス提供元のシステムに依存せずにアクセス制御を行う仕組みを提案した。属性ベース暗号技術と属性ベース署名技術を用いたクラウドストレージにコンテンツを安全に格納そして共有するためのアクセス制御方式を考案し、コンテンツを利用可能な相手を柔軟に設定できるような工夫として、ユーザの役職などを属性情報として用いることで、ある役職を持つ人のみにデータを開示するあるいは編集可能とするといった粒度の細かいアクセス制御を行うことができる。これによりクラウドサービス側に保存するユーザの機密コンテンツに対する情報漏洩問題を解決することができる。

=====

情報園地

2011 年寧夏大学中日国際学術セミナー（通知）

藏 志勇

国際間の教学、科学研究分野の学術交流と協力関係を深め、寧夏大学と島根大学、及び中国西部地域における大学間の学術研究レベルを高めるため、寧夏大学の主催により、2011 年 12 月 17 日～18 日に「2011 年中国寧夏大学・日本島根大学国際学術セミナー」を行います。

主 催：寧夏大学
共 催：島根大学

実施部門：寧夏大学・島根大学国際共同研究所

全体テーマ：「合作研究、共同発展、開拓創新、地方經濟の振興」

開催日時：2011年12月17日（土）、18日（日）

参加要領：参加者について特に限定はありません。會議の全体テーマに沿った最新研究成果（論文発表、研究報告、プロジェクト報告。未発表のものであること。）をご提出ください。

1、発表要旨提出締切：2011年11月28日

字数は800字前後で、タイトル・氏名・所属・職務・連絡先を明記、中国語の訳文を添付のこと。

2、発表用PowerPoint提出締切：2011年12月11日

3、PPTのご発表時間は、10分間発表、10分間通訳、10分間質疑

4、フルペーパー提出締切：2012年2月20日

提出方法：電子メールで下記アドレスまでお送りください。（タイトルに「セミナー発表論文」と明記してください。）

e-mail: tyudzzy6@yahoo.co.jp（担当：藏）

ご質問等連絡先：藏 志勇 0086 - 18795180163

主会場：寧夏大学A区行政ビル（主楼）6階會議室

会場住所：寧夏・銀川市西夏区賀蘭山西路489号 寧夏大学A区

食事・宿泊：會議開催期間の参加者の食事は主催者が提供。旅費及び宿泊費は自己負担。（宿泊手配も承りますので、藏までご連絡ください。）

寧夏大学 島根大学

2011年中日国際學術セミナー組織委員会

=====

その他

投稿募集

協會のメルマガが毎月1期を発行しています。會員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからのご投稿をお待ちしております。

連絡先：メルマガ編集委員会 mailmag@casej.jp

~~~~~

### メルマガ編集委員の募集

メルマガは我が協會内の情報誌で、全ての會員のご参与を期待しております。メルマガは毎月一回発行し、今のところは6人の編集者が分担して編集・校正を行い、作業自体はそれほど複雑ではないです。我が協會を活性化させるため、有志の方にはぜひご応募頂ければ、と思います。一緒に博士協會を盛り上げましょう！ご応募をお待ちしております。

応募先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

~~~~~

事務局からのお願い

転職や就職などでメールアドレスの変更が発生した場合には、ぜひ事務局あて (office@casej.jp) にご一報ください。

=====

本期編集担当：李 卿

校正：孔 昌一

配信元：全日本中国人博士協會事務局 office@casej.jp

<http://www.casej.jp>

Copyright (c) 2011 - 全日本中国人博士協會 - - All rights reserved.

=====

メルマガ編集委員会

委員長

李 卿（編集担当）

副委員長

康喜軍（編集担当）

委員

金 俊（編集担当）

郭 陽（編集担当）

孔昌一（校正・発行担当）(事務局)

李 明（校正・発行担当）(事務局)

=====